『サプール2021展 in FUKUOKA』開催決定

アフリカのコンゴ共和国とコンゴ民主共和国で90年以上続く独自のファッション文化「サプール」。その世界を紹介する展覧会『サプール2021展 in FUKUOKA』が、2月23日 （火・祝）から2月28日（日） まで福岡市美術館にて、3月25日（木） から3月30日（火） まで福岡アジア美術館にて、2期にわたって開催されます。
平均年収3万円以下の収入をやりくりし、ハイブランドスーツを身にまとって街を闊歩するサプールの人々は、“服が汚れるから争わない”というシンプルな平和感をもち、“エレガントな装いこそ人生のすべて”という生き方をもつファッショニスタ。孤高の価値観と共に生きる平和のメッセンジャーです。
今回の展覧会では、2015年から現地に赴き取材を重ね、日本におけるサプール文化研究の第一人者として知られる写真家のSAP
CHANO氏を迎え、CHANO氏が手がけた写真作品やサプールがデザインした衣装（スーツ・ネクタイ等）が展示されるほか、彼らのインタビューを収録したムービー作品の上映やCHANO氏によるトークイベントも予定しています。
こうした規模でサプール文化が紹介されるのは九州では初めての機会です。ぜひ会場にて、その深遠で魅惑的、そして色鮮やかな魅力に触れてください！

■タイトル・「サプール2021展 in FUKUOKA」by SAP CHANO
■日時・開催場所
シーズン1：2021年2月23日 （火・祝）~2月28日 （日 ）9：30～17：30 ※最終日は17:00まで
福岡市美術館 ギャラリーF（福岡市中央区大濠公園1-6）
シーズン2：2021年3月25日（木） ~3月30日（火） 月/火/木/日9:30 18:00
金/土 9:30 20:00 ※最終日は16:00まで
福岡アジア美術館 企画ギャラリー A（福岡市博多区下川端3-1 リバレインセンタービル7F）
■入場料
大人：500円（高校生以下無料） ※シーズン1の半券持参でシーズン2の入場料200円割引
共通ペアチケット：1000円 ※シーズン1、2両会場にペアで入場できます。
■内容
・SAP CHANO氏撮影の「サプール」の人々を被写体とした写真展示およびムービー作品の放映
・サプールのネクタイ展及びサプールがデザイン、着用した衣装の展示
・SAP CHANO氏及び特別ゲストによるトークイベント

■主催：サプール2021展 実行委員会・（株）アウニー内（ 092-600-4769 ）

■共催：サプール協会・（株）オフィス28プロダクション内（ 03-6804-5404 ）
■後援：福岡市・福岡市文化芸術振興財団・西日本新聞社・駐日コンゴ共和国大使館
■プロデューサー：MASUDA YUNA ■会場ディレクション：HARUTAKA DESIGN
■グラフィックデザイン：FUJINO DAISUKE ■広報協力：福博ツナグ文藝社
■Special thanks：HAIR MODEL BANK
■お問い合わせ：（株）アウニー（ 092-600-4769 ）
■文化庁、文化芸術活動継続支援事業

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com